11月12日公開

第５回　防災庁が発足

11月２日、国の災害対応の司令塔となる**防災庁**が発足しました。**南海トラフ**地震や首都直下地震、富士山の噴火など、大規模な災害が心配されるなか、内閣府の防災を担当する部門を改めて、予算や人員を増やしました。初代の防災大臣には、細野豪志氏が就任しました。

■防災庁とは■

防災庁は**内閣直属**の組織で、トップは**内閣総理大臣**です。災害への備えから、災害が起きたときの被災者の支援、復旧・復興まで、一貫して担当します。

日本では、1995年の**阪神・淡路大震災**、2011年の**東日本大震災**、2024年の**能登半島地震**など、大きな災害のたびに、省庁をまたぐ対応の遅れや、避難所の環境が課題とされてきました。国全体で大規模な災害に備える体制をつくることが、防災庁のねらいです。

■国民への緊急要請■

発足の日、細野防災大臣は、全国民に向けて「事前防災徹底のための緊急要請」を出しました。大災害では、国や自治体などの行政による対応（**公助**）には限界があるため、自分の命は自分で守る（**自助**）が欠かせないと訴えました。

要請の内容は、住宅の耐震診断や家具の固定、水・食料などの備蓄、**ハザードマップ**や避難場所の確認、地域の防災訓練への参加などです。また、各府省庁や都道府県にも対策を求め、年末までに進み具合を報告させる方針です。

チャレンジ問題

1　防災庁について述べた文として正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア　国会に置かれた組織です。

イ　災害が起きたあとの復旧だけを担当します。

ウ　内閣直属の組織で、トップは内閣総理大臣です。

エ　外務省のなかに置かれた組織です。

2　防災大臣が国民に求めた、「自分の命は自分で守る」という考え方を何といいますか。次から選んで、記号で答えなさい。

ア　自助　　イ　共助

ウ　公助　　エ　扶助

答え

1　**ウ**
2　**ア**